



東京慈恵会医科大学リハビリテーション科 セラピスト育成システム

東京慈恵会医科大学リハビリテーション科 セラピストの育成理念

- 広範囲な知識を有し、
患者を選別せずに治療ができる集団を育成する
- 学生や新人、研修生を **教育できる** 指導者を育成する
- **病院が求める** 質の高い医療を
実践できるセラピストを育成する
- 患者に **信頼される** セラピストを育成する

系統的な教育システムを展開しています

大学

OJT 制度
職員研修プログラム

リハビリ科 4機関

キャリアラダー
教育研修プログラム
交換研修制度
慈恵リハビリテーション研究会

リハビリ科 各機関

育成プログラム
勉強会
多職種向けセミナー

PT OT ST協会 など

生涯学習プログラム
関連学会、民間セミナー

OJT制度 On the Job Training

新人期に必要なスキルや知識を
臨床現場の職務を通して
直属の担当リーダーが指導します。

年間スケジュールシートを用いて、
リーダーと目標をすり合わせ、
課題を明確にすることで
業務にあたることが出来ます。



OJT制度 On the Job Training



臨床スキル向上のために、
日々の臨床を共にします。



症例報告などの課題も
1年目から丁寧に指導します。

職員研修プログラム

新入職員研修 など

ビジネススキルやコミュニケーションスキルといった内容について、専門の外部講師を招いて研修を受講します。

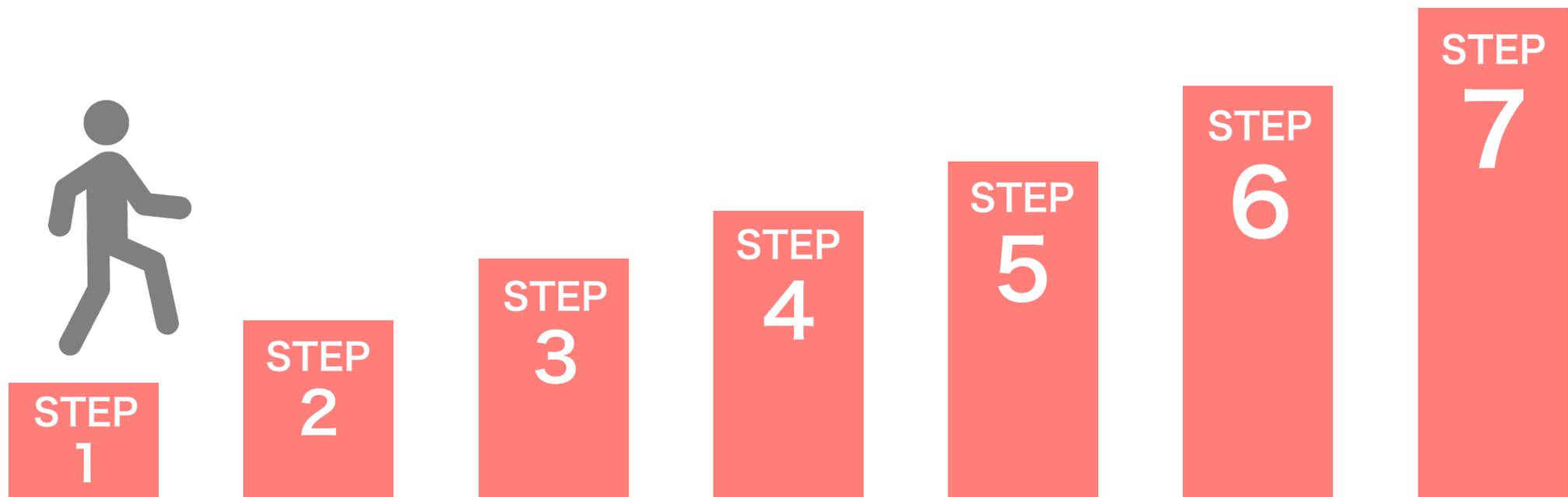
リーダー研修、マネジメント研修 など

問題解決や部署のマネジメントなど、指導・監督するために必要な技能について、専門の講師から学びます。

大学という組織のスケールメリットを活かし、他部署のコメディカル、事務職員とも交流しながら、スキルアップのための教育機会が提供されます。

キャリアラダー

リハビリテーション科スタッフのキャリアアップをサポートするために、職業・技能上の経験を継時的に可視化したツールを用いています。



キャリアラダーのステップ

STEP 1 基本的な療法ができる

STEP 2 独立して療法ができ、新人教育に関われる

STEP 3 学生や新人への指導ができる

STEP 4 後輩指導ができ、チームでのリーダーシップがとれる

STEP 5 部門運営に関わり、マネジメントに参画できる

STEP 6 多職種との調整、連携を図り、部門運営ができる

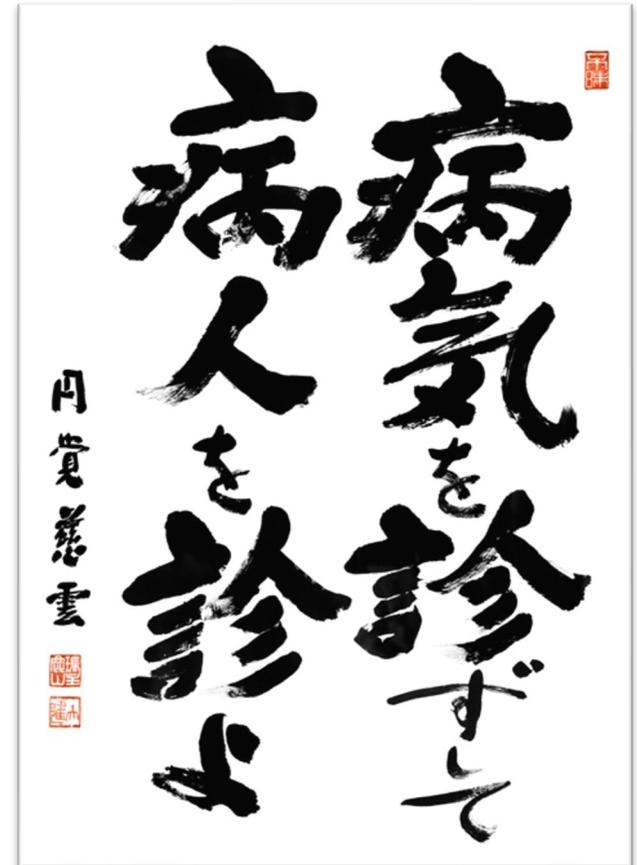
STEP 7 科内の目標・方針を設定し、的確な企画立案ができる

ステップごとに求められる能力を明確にして、
スタッフひとりひとりのキャリアアップを組織的に支援します。

キャリアラダーの領域

機械的にセラピーや研究ができれば良い、とはしません。
全人的な、優れた医療者を育成することが目標です。

- 臨床基礎能力
- 臨床実践能力
- 対人能力
- 教育・指導能力
- マネジメント能力



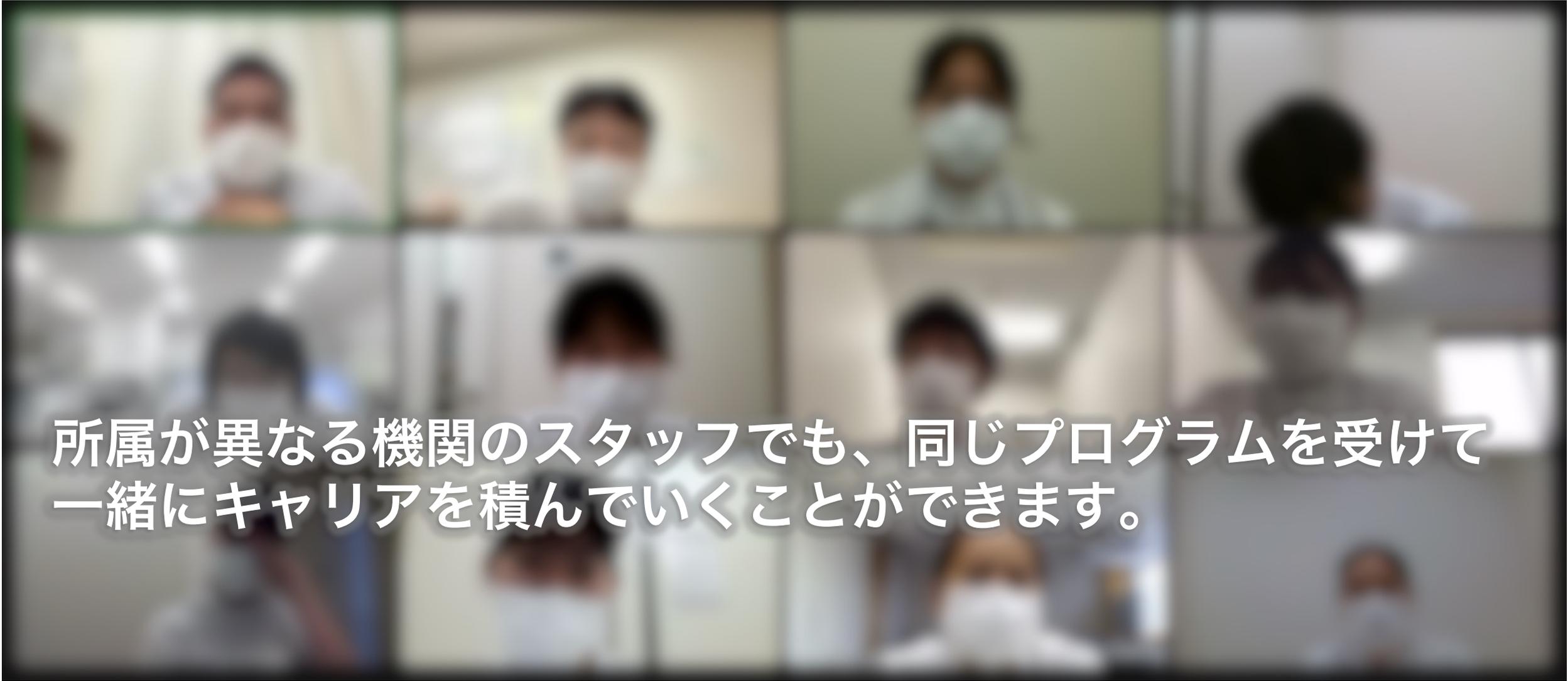
リハビリ科 4機関合同 教育研修

| プログラム | 対象 |
|----------------|-------|
| 教育システムとキャリアアップ | 1年目 |
| 診療報酬体系 | 1年目 |
| 症例報告作成法 | 1年目 |
| 臨床疑問解決法（臨床研究） | 3&5年目 |
| 実践報告会 | 3年目 |
| 医療の質と安全 | 1年目 |
| チーム医療 | 1&2年目 |
| 地域医療 | 1&2年目 |
| 症例報告会 | 1&2年目 |



キャリアをサポートするための
包括的なプログラムを提供します

4機関をつないだ オンライン教育研修



所属が異なる機関のスタッフでも、同じプログラムを受けて一緒にキャリアを積んでいくことができます。

4機関合同 多職種参加型の 症例報告会

2022年度 1年目スタッフ 症例報告会 演題

- 演題1 音韻課題がメール作成に効果を示した脳動静脈奇形摘出後の失語症例
東京慈恵会医科大学附属病院 言語聴覚士
- 演題2 脳腫瘍による重度右片麻痺に対して、機能改善に伴って補助手から実用手へ
目標を再設定したことで、麻痺側で自助具を用いた箸操作が可能となった一例
東京慈恵会医科大学附属病院 作業療法士
- 演題3 脳動静脈奇形の再破裂により皮質下出血を発症後、片麻痺を呈した症例
～歩行の再獲得を目指した急性期の介入～
東京慈恵会医科大学附属病院 理学療法士
- 演題4 メニエール病と水頭症が既往にある内包後脚梗塞の一例
～筋力低下とバランス能力に着目した理学療法～
東京慈恵会医科大学附属第三病院 理学療法士
- 演題5 転倒により骨盤骨折と右大腿骨転子部骨折を受傷して観血的整復固定術を
施行された症例 一部分荷重から全荷重にかけて歩容の改善に向けて-
東京慈恵会医科大学附属柏病院 理学療法士
- 演題6 下肢失調による歩行困難から段階的アプローチにより復職に至った一症例
東京慈恵会医科大学附属病院葛飾医療センター 理学療法士
- 演題7 交通外傷により多発外傷を生じ、膝関節屈曲可動域制限の改善に難渋した症例
～機能障害改善に加えCPSP発生の予防にも留意したアプローチ～
東京慈恵会医科大学附属第柏病院 理学療法士
- 演題8 周辺性失書に対して視覚イメージと運動パターンに着目した症例
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 作業療法士
- 演題9 手根管症候群を併存するTHA術後患者の歩行自立を目的とした理学療法
東京慈恵会医科大学附属病院 理学療法士
- 演題10 VR（バーチャルリアリティ）デバイスを用いて
急性期における左半側空間無視の病識と代償行動の獲得を試みた症例
東京慈恵会医科大学附属第三病院 作業療法士

2022年度 2年目スタッフ 症例報告会 演題

- 演題1 自宅退院を目指して言語聴覚療法と多職種アプローチを行った
脳腫瘍摘出手術後の急性期高次脳機能障害症例
東京慈恵会医科大学附属柏病院 言語聴覚士
- 演題2 重度高次脳機能障害を呈した 50 代男性の復職に向けた作業療法
～適正のある職務内容と職務環境についての整理に向けた介入～
東京慈恵会医科大学附属第三病院 作業療法士
- 演題3 特発性脊髄硬膜外血腫に対する理学療法
～画像所見による初期評価が病態把握に有用であった一例～
東京慈恵会医科大学附属病院 理学療法士
- 演題4 スプリントの段階的な使い分けにより、術後に手指の関節可動域が改善した症例
東京慈恵会医科大学附属病院 作業療法士

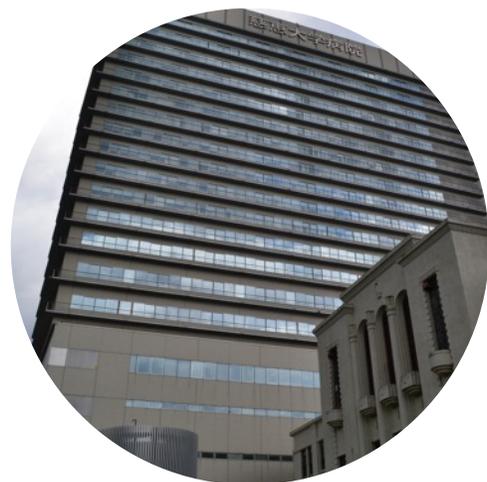
学術集会さながらに、
4機関のスタッフが集合して
多職種の症例報告会を開催します。

臨床力だけでなく、
プレゼンテーション能力や
批判的吟味の力も養います。

リハビリ科 4機関 交換研修制度

3～5年程度の臨床経験を積んだスタッフ向けに、施設間の短期的な交換研修を行う制度も取り入れています。配属された施設だけでは学び得ない、様々な疾患患者、急性期に加え回復期や生活期、異なる医療圏のリハビリテーションの経験、他機関の療法士、医師、職員との交流など、多くの教育機会を享受できます。

4つの附属病院というスケールメリットと、病院間の親密な交流がある特徴を最大限に活かしたシステムで、スタッフの成長を支援します。



慈恵リハビリテーション研究会

4機関と関連病院のリハビリテーション科医師、
4機関の療法士が一堂に会して、互いに
臨床研究の成果や、希少な教育的症例を報告します。
チームで討論することで、療法士が医師から
指導を受けることができる機会となっています。

4機関合同 部門別の分科会

4機関の理学療法部門、作業療法部門、言語聴覚部門がそれぞれ集合し、必要課題の解決やスキルアップにつながる情報を共有する機会を設けています。

例えば、

- 研究活動への足掛かりとなるヤングリサーチミーティング
- 学会発表の予演会、執筆論文の紹介
- 治療や評価方法に関する情報共有
- 臨床実習などの卒前教育の在り方
- 育成に関わる卒後教育の在り方 などをテーマとして開催します。

ベテランスタッフから新人スタッフまでが集まり、よりよい医療を実践するための、**臨床・教育・研究**について検討します。

各機関の育成プログラム

ジョブローテーション

所属機関によっては、チーム制、ローテーション制、専任制のスタッフ配置などのシステムを取り入れています。さまざまな分野を満遍なく経験することでスキルアップを図り、優れたジェネラリストになることを目指します。例として、集中治療室の専任、心臓リハビリテーションチームの専任、脳卒中ケアユニットの専任、病棟担当制、部門内チーム制などがあります。

チーム医療への参加、メンバーシップの発揮

キャリアに従って、各機関に存在する様々なチームのメンバーに選ばれます。多職種による高度なケアを学ぶ機会が数多くあります。例として、呼吸ケアサポートチーム、栄養サポートチーム、褥瘡予防チーム、排尿ケアチーム、認知症ケアチーム、転倒転落予防チームなどがあります。

各機関の育成プログラム

各機関オリジナルの研修の提供

医師による定期的な講習、他職種のエキスパートによる研修会、脳神経外科、整形外科、心臓外科等の手術見学、嚥下関連検査の参加、他職種のシャドーイング、最新機器のハンズオンセミナーなどを開催しています。

教育的カンファレンス、教育的症例検討会など

多くの診療科や他部署とのカンファレンス、フィルムに特化したカンファレンスや、稀少疾患、難渋症例、ピットフォールに陥った症例などの症例検討会が教育的視点で行われています。全ての患者さんから学ぶ姿勢を大切にしています。

職員向け院内セミナー

医療安全（Team STEPPS）、感染対策、人工呼吸器等の医療機器、医学文献検索などの院内講習会、セミナーを無償で受講することができます。

学外の自律学習

PT協会、OT協会、ST協会の研修など

所属する協会が設けている卒後教育プログラムへの参加を推奨し、計画的に履修できるように、キャリアラダーにも組み込んでいます。

専門的な資格取得

所属する協会が規定する専門や認定の療法士の取得、関連学会が認定する種々の資格取得についても、療法士としてのスキルアップ、キャリアアップとして推奨しています。多くのスタッフがあらゆる分野の専門資格を取得しているため、取得のための手続きや受験対策のアドバイスが行えます。

上級学位取得の高等教育

大学院等に進学して修士号、博士号を取得するスタッフも多くいます。業務に支障がないかたちで取得できるようアドバイスを受けることができます。

学外のさまざまなキャリア経験

学術的活動

各部門ともさまざまな領域の学会に所属し、学会発表、論文執筆、学会やセミナーの講師・座長、書籍の執筆、論文の査読などを行っています。

※ 詳細は別の研究紹介ページをご覧ください。

社会的活動

関連学会・協会の理事や代議員・評議員、ガイドラインの作成メンバー、市区町村のリハビリテーション関連・社会支援団体のセミナー・教室の講師、地域のリハビリテーション連絡会、協議会等への参加・支援、地域や民間団体と協力した社会復帰の支援活動など、多岐に渡る活動をしています。

**専門性を活かして社会に貢献することも
大切なキャリアのひとつであると考えて、
教育・育成における支援項目にしています**

キャリアをサポートするスタッフ

有資格

各領域の専門理学療法士、各領域の認定理学療法士、各領域の認定言語聴覚士、心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士、腎臓リハビリテーション指導士、日本糖尿病療養指導士、リンパ浮腫保険診療士、アスレティックトレーナー、ケアマネージャー、健康運動指導士、企業在籍型ジョブコーチ、両立支援コーディネーター、公認心理師、上級学位取得者（博士号、修士号）など

所属学会・協会

日本理学療法士協会（各種法人理学療法学会）
日本作業療法士協会
日本言語聴覚士協会
日本リハビリテーション医学会
日本ボツリヌス治療学会
日本スティミュレーションセラピー学会
日本正常圧水頭症学会
日本高次脳機能障害学会
日本神経心理学会

日本森田療法学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会
日本職業リハビリテーション学会
日本安全運転医療学会
日本股関節学会
日本手外科学会
日本末梢神経学会
日本リンパ浮腫学会
日本集中治療医学会

日本循環器学会
日本心臓リハビリテーション学会
日本小児循環器学会
日本成人先天性心疾患学会
日本臨床スポーツ医学会
日本体力医学会
医療の質・安全学会 など

**臨床、研究、教育とも経験豊富なスタッフが
スペシャリティを活かして若手のキャリアサポートを支援します**